

No.	009	—	1001	事務事業名	はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業						公的関与	5	
PLAN	課名	長寿介護課		係名	高齢福祉係		電話番号	089-964-4408		メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	2 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の目的	高齢者の疾病予防及び健康維持を図るため。また、当該事業を継続実施することで、医療負担の軽減が図られるため。					根拠法令等	東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費助成条例					
	事業の手段	保険対象外のはり、きゅう及びマッサージを受けた高齢者を対象に、ひと月3回を上限に、1回当たり1,000円を助成します。					掲載計画	東温市第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		利用延人数	月利用延人数×12月		人	目標	450	470	480	490			
						実績	436	475					
		利用回数計	月利用回数×12月		回	目標	1,350	1,368	1,388	1,408			
						実績	1,352	1,375					
目標													
実績													
活動内容	①	広報紙やホームページ等で事業内容の周知を図ります。				④							
	②	請求書を受け付けます。				⑤							
	③	1人当たりひと月3回を限度に、1回当たり1,000円を助成します。											
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	扶助			費			
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		186 千円	194 千円	0 千円							
		一般財源		1,010 千円	1,181 千円	1,380 千円							
	計(A)		1,196 千円	1,375 千円	1,380 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	620 千円	0.100 人	631 千円	0.100 人	631 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,816 千円		2,006 千円		2,011 千円						
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	疾病予防のために一定の効果があると考え、利用者からも費用の助成について強い要望があります。												
有効性	疾病の予防のために一定の効果があると考えます。												
達成度	疾病の予防に一定の効果があると考え、より多くの高齢者にご利用いただきたいと考えます。												
効率性	健康維持に効果があると考え、重症化予防については介護給付費の削減につながると考えます。												
当面の課題	もっと多くの高齢者に事業をご利用いただきたいと考えることから、広報紙による事業の周知を図ります。												
改訂計画	定期的に広報紙に事業内容について掲載し、事業の周知に努めます。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	今後、益々高齢者の増加が見込まれており、健康寿命を延伸させるためには、高齢者に対する福祉施策の充実を図る必要があります。本事業の充実に努めたいと考えます。												

No.	009	—	1017	事務事業名	シルバー人材センター運営事業				公的関与	5
-----	-----	---	------	-------	----------------	--	--	--	------	---

PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度	～	期間認定なし
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	2 福祉サービスの提供と生きがいづくり		
	事業の目的	健康で働く意欲のある高齢者のために、希望に沿った就業機会を確保し、生活感の充実や福祉の増進、さらには社会奉仕活動を積極的に進め、活力ある地域づくりに努めることを目的とします。				根拠法令等	東温市高齢者福祉団体等補助金交付要綱				
	事業の手段	多くの高齢者にご利用いただくことを目標に、シルバー人材センターへ運営経費を対象として補助金を支給し、昨年度よりも登録者増を目指します。				掲載計画					

PLAN	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標	
		登録者数		人	目標	180	190	200	250
					実績	169	162		
					目標				
					実績				
					目標				
実績									

DO	活動内容	①	補助金申請書を受理し、審査、確認の上支給します。	④				
		②		⑤				
		③						
	予算費目	会計	一般会計		費目名	補助	費	
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考		
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円			
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円			
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円			
		一般財源	270 千円	270 千円	270 千円			
	計(A)	270 千円	270 千円	270 千円				
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	310 千円	0.050 人	316 千円	0.050 人	316 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費(A+B)		580 千円	586 千円	586 千円				

CHECK・ACTION	一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	高齢者福祉の観点から、補助金の支給は必要です。												
	有効性	当市で類似・重複した事務事業はなく、本事業を基に就労している方も多いため、高齢者福祉の推進に寄与しています。												
	達成度	60歳を超えても再任用等で就労している高齢者は年々増加しているため、事業の利用者は減少傾向にあります。												
	効率性	高齢者の社会参加に寄与しており、センターの運営も安定していることから、効率的に執行できています。												
	当面の課題	就労する高齢者が増加傾向にあることから、会員数が減少傾向にあります。しかしながら、社会全体では就労者の不足が叫ばれていることから、高齢者が無理なく就労できる事業内容を模索していく必要があります。												
	改訂計画	コロナ禍にも関わらず受注件数や事業費は増加しており、令和3年度はホームページも開設し、門戸を広く募っていますが、肝心の高齢者に伝わっていない可能性があります。脳トレや老人クラブに対してシルバー人材センターの活動内容を周知し、ダイレクトに会員募集を検討する必要があります。												
	二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	二次評価での指摘事項	これまでは定年退職が60歳の時代でしたが、今後は、65歳にまで延びることとなります。それにより、シルバー人材センターに登録する方も60歳そこそこで加入されていたようですが、今では減少の一途を辿っています。会員の募集方法の検討を行い、強力にバックアップしたいと考えます。												

No.	009	—	1021	事務事業名	長寿祝事業						公的関与	5	
PLAN	課名	長寿介護課		係名	高齢福祉係		電話番号	089-964-4408		メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~ 期間認定なし			
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	2 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の目的	長寿の節目を迎えた市民に対して、長年にわたる労苦をいたわるとともに長寿を慶び、高齢社会が進展していく中で、高齢者が生きがいを持って生活ができる社会環境を醸成します。					根拠法令等	東温市長寿祝金支給事業支給規則					
	事業の手段	88歳の者に30,000円を、100歳の者に50,000円を支給します。また、満100歳の方と最高長寿者には記念品を贈呈します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		支給率		支給数/支給対象者数		%	目標	100	100	100	100		
							実績	99	100				
							目標						
							実績						
					目標								
					実績								
DO	活動内容	①	満88歳、100歳に申請書を送付し、祝金を支給する。			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	扶助			費			
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円							
		一般財源		8,309 千円	7,575 千円	8,089 千円							
	計(A)		8,309 千円	7,575 千円	8,089 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.142 人	881 千円	0.142 人	896 千円	0.142 人	896 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		9,190 千円		8,471 千円		8,985 千円							
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	祝金支給要件確認の問い合わせは定期的であり、高齢者の生きがいとなっているため必要です。												
有効性	祝金及び記念品は高齢者の生きがいとなっており、当市に継続して居住する理由の一つに該当しているため有効です。												
達成度	祝金該当者への支給率は100%となっており、十分達成していると言えます。												
効率性	祝金の額は他自治体と比較しても高額であり、金額の見直しが必要な時期になっています。												
当面の課題	祝金支給総額は微増傾向にあり、財政面を圧迫している状況です。												
改訂計画	他市町比較しても高額であるため、金額の見直しを検討します。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	2	今後の方向性	縮小
二次評価での指摘事項	本事業については、県内他市町と比較しても高額となっているため、支給額の見直しが必要な時期であると考えます。しかしながら、本事業については、財政的な面だけではなく、政策的な要素が非常に高いため、出来るだけ早い段階で実施の可否等の方針を決定する必要があります。												

No.	009	—	2021	事務事業名	介護保険給付事務							公的関与	1
PLAN	課名	長寿介護課		係名	介護給付係		電話番号	089-964-4408		メールアドレス	tyoujukaigo@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実			主要施策	3 充実した介護サービスと適正な運用			
	事業の目的	要介護(要支援)認定を受けている方が自宅で自立した生活ができるよう支援し、家族の介護負担を軽減するため。また、低所得者に対し介護サービス費等の負担を軽減するため。					根拠法令等	介護保険法					
	事業の手段	要介護(要支援)認定者が購入した福祉用具や住宅改修に係る費用を償還払いにより支給します。また、介護サービス費等について、上限額を超えた利用者負担分を支給します。					掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		業務時間の短縮		勤務時間内に処理が完了できないため。			時間	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	
								実績	1,800	1,800			
								目標					
								実績					
						目標							
DO	活動内容	① 福祉用具購入に係る費用を償還払いにより支給				④	介護サービス費と医療費を合算した年間の自己負担上限越え分を支給						
		② 住宅改修に係る費用を償還払いにより支給				⑤							
		③ ひと月の介護サービス費の自己負担上限越え分を支給											
	予算費目	会計	介護保険特別会計			費目名	保険給付			費			
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考						
		国・県支出金		49,273 千円	48,476 千円	51,630 千円							
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		52,603 千円	50,510 千円	55,828 千円							
		一般財源		25,367 千円	25,229 千円	28,262 千円							
	計(A)		127,243 千円	124,215 千円	135,720 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.911 人	5,652 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.911 人	1,845 千円	0.911 人	1,845 千円						
全体事業費(A+B)		132,895 千円		126,060 千円		137,565 千円							
一次評価者	介護給付係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	介護保険法に基づき、自治体での実施が義務付けられており、市で実施する必要性は非常に高い事業です。												
有効性	本事業は、市総合計画に位置付けられており、高齢者施策の充実に貢献しています。												
達成度	要件を満たしている申請者全てに支給しています。												
効率性	職員配置の見直しを検討する必要があります。												
当面の課題	業務の方法や職員配置の見直しについて、早急に対応する必要があります。												
改計画	引き続き事業を継続します。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	当該業務は現金の取扱いは無いものの、介護事業所等からの質問や相談に対して、適切かつ迅速に判断することが必要とされ、かつ、高額な給付費を支給することも多々あり責任は非常に大きいものとなっているため、次年度以降の正規職員配置に向けた調整が必要です。												

No.	009	—	2035	事務事業名	地域支援事業				公的関与	1			
PLAN	課名	長寿介護課		係名	介護給付係		電話番号	089-964-4408		メールアドレス	tyoujukaigo@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 18 年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	3 高齢者施策の充実			主要施策	1 介護予防と地域支援事業の推進		
	事業の目的	高齢者が要介護状態になることを予防し、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるようにするため。						根拠法令等	介護保険法				
	事業の手段	なるべく多くの高齢者に介護予防事業に参加してもらおうとともに、地域における関係機関とのネットワークを構築し、高齢者の適切な支援につなげます。						掲載計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		介護認定率	介護認定者数 / 高齢者数			%	目標	20	19	19	18		
			実績					21	21				
		総合相談延件数	年間相談件数			件	目標	2,200	2,500	2,800	3,000		
			実績					1,987	1,987				
在宅医療・介護連携相談延べ件数		年間相談件数			件	目標	350	400	450	500			
	実績					435	435						
活動内容	① 認知症総合支援事業				④								
	② 脳トレ大学事業				⑤								
	③ 短期集中運動指導事業												
DO	予算費目	会計	介護保険特別会計				費目名	地域支援事業				費	
	直接事業費	令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考					
		国・県支出金		80,508 千円		89,530 千円		100,964 千円					
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円					
		その他特定財源		64,186 千円		63,762 千円		79,071 千円					
		一般財源		31,118 千円		27,192 千円		32,468 千円					
	計(A)		175,812 千円		180,484 千円		212,503 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	2 人	14,877 千円	2 人	15,136 千円	2 人	15,136 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		190,689 千円		195,620 千円		227,639 千円						
一次評価者	介護給付係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	介護保険法に基づき、自治体での実施が義務付けられており、市で実施する必要性は非常に高い事業です。												
有効性	本事業は、市総合計画に位置付けられており、高齢者施策の充実に貢献しています。												
達成度	事業によって参加率のばらつきがあるため、見直しの余地があります。基礎体力の向上においては、事業の成果が確認されています。												
効率性	長期的な展望と並行して、効果とコストの両面から適正な手法を検討する余地があります。												
当面の課題	介護保険を安定した事業とするため、今後も益々介護予防事業を推進する必要があります。また、成果推計及び事業検証については、早急に結果をだすことが困難であることから、引き続き事業の把握に努め、効果とコストの両面から、事業全体の見直しを行う必要があります。												
改革計画	介護予防の重要性を多くの高齢者の方に知っていただく機会を設けるとともに、人と人とのつながりを通じて参加者の通いの場が継続的に拡大していくよう、引き続き自主活動グループの支援継続を行います。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	介護保険法に基づき、被保険者を対象とした事業です。訪問・通所サービスを直接提供する事業から、重症化を予防することを目的とした介護予防事業や地域包括ケアシステムの深化推進を目的とした社会保障事業等があり、その多くを市社会福祉協議会等に委託し、実施しています。今後においても、高齢化の進行に伴う社会保障費の増大が予測されることから、更なる介護予防事業の強化や改善を図ります。												